

西洋建築史
試験問題

中島智章

1. 次の建築作品・著作の施主または作者を右の3群の中から選び、解答欄に数字で記入せよ。 配点: 15問×3点=45点

- 01) ヴィットラ・アドリアーナ(ティヴォリ) アウグストゥス帝 トラヤヌス帝 ハドリアヌス帝
- 02) 13世紀ピカルディ語で書かれた『画帖』 シュジェール ヴィラール・ドゥ＝オヌクール マテュー・ダラス
- 03) サン・ロレンツォ教会堂(フィレンツェ) フィリッポ・ブルネッレスキ アンドレア・パラディオ フィリッポ・ユヴァッタ
- 04) サン・ジョルジョ・マッジョーレ聖堂(ヴェネツィア) ヤコブ・サンソヴィーノ アンドレア・パラディオ バルダッサレ・ロンゲーナ
- 05) イル・ジェズ教会堂(ローマ) アンドレア・パラディオ ヤコブ・パロツィ・ダ・ヴィニョーラ カルロ・マデルノ
- 06) テュイルリー宮殿(パリ) ジル・ル・ブルトン フィリベール・ドゥ・ロルム ジュール・アルドゥアン＝マンサール
- 07) サンタ・スザンナ教会堂(ローマ): バルダッサレ・ペルッツィ カルロ・マデルノ ジャンロレンツォ・ベルニーニ
- 08) ナヴォナ広場四対画像(ローマ) ミケランジェロ・ブオナローティ カルロ・マデルノ ジャンロレンツォ・ベルニーニ
- 09) サン・ロレンツォ教会堂(トリノ) フィリッポ・ブルネッレスキ グアリーノ・グアリーニ フィリッポ・ユヴァッタ
- 10) パラッツォ・ピッティ七惑星の広間群(フィレンツェ) ピエトロ・ダ・コルトーナ シャルル・ル・ブラン ルイ・ル・ヴォー
- 11) ツヴィンガー宮殿(ドレスデン) マテウス＝ダニエル・ペッペルマン レオ・フォン＝クレンツェ ゴットフリート・ゼンパー
- 12) プロワ城館オルレアン翼棟(プロワ) ビエール・レスコ フランソワ・マンサール アンジュ・ジャック・ガブリエル
- 13) ボーヴェ邸館(パリ) アントワーヌ・ル・ポートル ルイ・ル・ヴォー ジャック・フランソワ・ブロンデル
- 14) 『ギリシア芸術模倣論』 クロード・ペロー ジュリアン・ダヴィッド・ル・ロワ ヨハン・ヨアヒム・ヴィンケルマン
- 15) アルテス・ムゼウム(ベルリン) カール・ゴットホルト・ラングハンス フリードリヒ・ジリー カール・フリードリヒ・シンケル

- 01) 02) 03) 04) 05)
- 06) 07) 08) 09) 10)
- 11) 12) 13) 14) 15)

2. 次の文章中の空欄を適切に埋める名詞を解答欄に記入せよ。 配点: 15問×3点=45点

- 1) の全て、3) のc) は古典表記に基づくカタカナ、その他は漢字が現代語発音に近いカタカナ表記。それ以外は0点。
- 4)、5) の人名はフルネームで記すこと。名字のみは1点。個人名のみは0点。アルファベット表記は0点。

- 1) 現存する最古の建築書『建築十書』を著した(a) は、建築術は、建物を建てる術、日時計を作る術、器械を造る術からなると定義し、建物を建てるためには強 = (b)、用 = ウティリタス、美 = (c) という三つの理を満たさねばならないと述べた。これらは現在の建築学でも基本中の基本であり続けているし、実践の世界でもそうあるべきである。
 - a)
 - b)
 - c)
- 2) 至福千年説の超克し、交差(a) を架ける技術などの石造建設術が復興した11世紀以降、欧州中で聖堂建設が盛んになり、各地で特色ある(b) 様式の教会建築が出現した。フランスでは(c) 祭室、ライン川流域とその周辺では二重祭室といわれる平面形式が独自の発達を遂げ、イタリアでは鐘楼と洗礼堂を別個に建てるのが一般的だった。
 - a)
 - b)
 - c)
- 3) 垂直式防御とは都市や軍事拠点を高い城壁で囲んで防御することである。城壁各所には塔 = トゥール(仏)、タワー(英)が設けられ、その間の城壁のことを幕壁 = クールティーン(仏)、(a) (英)という。幕壁上には通路があり、その通路を守るために胸壁 = (b) (英)がめぐっている。東ローマ帝国の都(c) 市の二重城壁が最大の代表例。
 - a)
 - b)
 - c)

- 4) 1517年のマルティン・ルターの抗議に端を発するプロテスタント諸派の「宗教改革」に対して、カトリック側からの自己改革の動きを「反宗教改革」といい、(a)様式はその芸術的表れである。形態的には、凹凸の激しい壁面や楕円の使用が特徴で、(b)が設計した(c)教会堂(四つの泉のある四辻に面していることからそう呼ばれる)が代表例。 a) b) c)
- 5) 1752年、フランスのイエズス会士(a)は著書『建築試論』で理念的な建築の原初の姿を提示し、そこから建築にとって真に本質的な要素は、円柱、梁、三角破風だけだと主張した。これらはオーダーの用語でいうと、コラム、(b)、ペディメントにあたる。建築家(c)はサント・ジュヌヴィエーヴ聖堂で(a)の理論を実践に移したといわれている。 a) b) c)

3.次の問いに答えて、要求されたイラストを描け。 配点:10点

ペンデンティヴ・ドームを備えた教会堂の名称を三つ挙げよ。また、ペンデンティヴ・ドームの模式図を、どの部分がペンデンティヴなのかがよく分かるように描き、そこを斜線で示せ。

建造物名称 1) 2)
3)

配点:3問×2点=6点

断面略図 配点:イラスト3点(上=3点、中=2点、下=1点、なし=0点)+ペンデンティヴ図示×1点=4点